

多賀城産古代米

多賀城は、奈良時代に「国府」が置かれるなど古代東北の政治・文化・軍事の中心として栄えた歴史のあるまちだ。

特別史跡に指定されている「多賀城跡」からは、当時を物語る様々な遺物が出土されており、その中に「黒舂米(こくしょうまい)」と書かれた木簡が出土している。多賀城では遠い昔から米を作付けしていた歴史的な背景を受け、現在でも稲の原種に近い「古代米」を多賀城市の特産品として認定し栽培している。



また、地元の小学5年生を対象に古代米の田植え・稲刈りをとおして歴史的食文化体験学習を実施している。子供たちが収穫した古代米は、東日本大震災発災から10年にあたる昨年、「東北復興宇宙ミッション」で宇宙ステーション(ISS)にも運び込まれた。

今後は、宇宙から戻ってきたこの多賀城産古代米を、多くの人たちに愛されるよう、様々な場面で活用していくこととしている。